

事業所名

あおいとプラス電通教室

支援プログラム (児童発達支援)

作成日

令和7年

3月

15日

法人(事業所)理念	子どもたちの「やる気」と達成した時の「できた」の気持ちを伸ばす支援を行う。		
支援方針	年齢・学年や特性に応じ、コミュニケーション能力の育成を「個別療育」「小集団療育」等を用いて成長をサポートしていく。		
営業時間	8時	45分	17時30分まで
	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の使用と手の操作性を強調して提供する。特に着脱は、本人が楽しめる活動前に重点的に取り組む。 ・服を頭上に掲げる程度の行動を促すところから、スモールステップで始める。 ・身だしなみや整え方の観点は次のステップとし、大人がサポート・仕上げを行う。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・手のひら、足の裏、お尻などを支えたり、接地している感覚をつかみやすくするため、つかむ・支える・滑るなどの要素を取り入れた遊具遊びを提供する。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な伝え方のモデルを大人が示す。・簡単なやり取りを、端的に本人がストレスをため込まないよう、執拗には行わず、その都度促していく。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・本人からの表出や要求に可能な限り応え、伝わったことの楽しさを伝えていく。 ・自信を持って取り組める活動に担当支援員以外の職員と参加する。 ・活動内容を絵カードなどで紹介を通し、選択肢から選ぶことや表現する機会を設ける。 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前に全体を指差しする等を行い、全体を見直す機会を設けてから声をかける。 	
家族支援	本児の様子を送迎時や、連絡ノート(ツール)などで共有を行い、困りごとに対する具体的な方法を伝え、実践していただく。	移行支援	幼稚園・保育園等での様子や、当事業所での様子を定期的に報告し、日々の様子を共有する。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・連携会議を定期的に開催し、情報収集・役割分担について協議する。 ・各関係機関化の情報に基づき、具体的な場面での本児との関わり方の提案やポイントについて助言を行う。 	職員の質の向上	各種研修の受講と、関係機関との連携を深めスキルの向上を目指していく。
主な行事等			